

# ディプロマポリシー

## ■ 専門課程 (2年制)

昼間部・夜間部

## ビジュアルデザイン学科・産業デザイン学科

デザインスキルだけでなく、SDGs(持続可能な開発目標)の掲げるグローバルな普遍的価値、いわばヒューマニズムを基礎とするデザインの社会的役割をよく認識し、デザイナーの責務を自覚し、表現者としての規範を有することが求められます。

本課程を卒業、または修了するためには、前述の資質を備えたうえで各科目および卒業試験に合格しなければなりません。

卒業試験は、基本的に10週間にわたるワークショップで作品を制作することによって行われます。可否を含むその評価は指導教員の採点だけでなく、第三者評価<sup>※1</sup>を含めて評価されます。同時に、作品の出来栄えやその表現力のみならず、演習授業で繰り返し学習するデザインプロセスをスピーディー(デザインスプリント<sup>※2</sup>)に行うこと、コンセプトメイキング力<sup>※3</sup>、プロとして要求される仕事の速さや量、工房実習で磨き上げた仕上げの精度や、2年間を通じて培われるプレゼンテーション力<sup>※4</sup>も、多角的に評価されます。

※1 卒業制作の審査(本試験)は、「プレゼンテーション審査(訴求ポイントの明確性、プレゼンの表現力)」と「作品審査(提案の社会への有用性、コンセプトからの変換力とそのデザイン性)」の2つの観点から、第三者(スーパーバイザー、担当外講師、外部の有識者の3名)による評価を行っています。担当講師以外の評価を採用している理由は、デザインの本質である消費者目線(一見しただけで意図やメッセージが作品から伝わるか?)を重視しているためです。

※2 1.Understand(理解)、2.Diverge(発散)、3.Decide(決定)、4.Prototyping(試作)、5.Validate(検証)

※3 コンセプトは、理念・概念(想い、願い、未来)の形成です。これらは、自己の想いだけではなく、その形成していく過程で共感してくれる方を増やしていく行為です。自己の考えを発信し、そのターゲットニーズの反応などを検証しながらまとめあげていきます。

※4 以下のプレゼンテーションを全ての授業に義務づけ、プレゼンテーション力を培います。

◎素案・アイデアの検証・方向性を定めるために繰り返し行うショートプレゼンテーション ◎訴求(説得)するプレゼンテーション

プロの世界はYes(採用)かNo(不採用)の2つの結果しかなく、秀でたデザイナーとして良い評価を獲得するとともに、より多く、より効果的に仕事を行うには、説得するための優れた技術と慣れが必要になります。

## ■ 職業実践専門課程 (2年制)

昼間部・夜間部

## コトづくり学科・モノづくり学科

本課程の卒業要件の一つである卒業制作は、学生自身が実際のクライアント(企業・団体・地域)を見つけ、そのクライアントからリアルなテーマをもらい、問題解決を行うことが求められます。

問題解決に際しては、クライアントの要望や提案するターゲットのニーズに対し、デザイン思考のメソッド過程を実践的に用いて斬新なアイデアを創出すること、そして、そのアイデアを訴求力のあるプレゼンテーションとしてまとめることが必要となります。

本課程では、上記の「卒業制作の企業クライアント制」を通して、高度で特殊な能力や技術を有する企業や、様々な価値観や多様性を持つ人材との活発な議論(ニーズとシーズをマッチングさせる情報循環の場)を経たうえで、クライアントの課題解決を目指すことが求められます。

また、これらの提案成果を一般に向けて行う「公開プレゼンテーション」において、仲間達と競い合いを行ってもらいます。

提案内容および成果物には、デザイン思考の実践を通じて「空間とモノ」、「空間と人」、「人とモノ」のインターフェイス(接触面)の新しい関係<sup>※1</sup>を構築すること、マーケティングにおいて、新しい「仕掛け<sup>※2</sup>」や「仕組みづくり<sup>※3</sup>」が含まれていることが必須条件になります。

※1 「空間とモノ」、「空間と人」、「人とモノ」を繋ぐ、今までにない新しい関係性のことを指します。新しいコト・モノを創るには、デザインされる対象のそれぞれの新しい繋がり方を考えることが革新の第一歩となります。

※2 考えた意図の通りに人々に行動させたり、作用したりするアイデアを指します。

※3 考えたアイデアが持続可能なカタチで構築(人・モノ・お金)されており、アイデアが成り立つ具体的に論理的な構造体が組み入れられていることを指します。

ディプロマポリシーとは、学位授与に関する基本的な考え方について、各学校などが、その独自性や特色を踏まえ、まとめたものです。ディプロマポリシーにより卒業生に身につけさせるべき能力に関する学校の考えを示されており、成績評価や単位認定、卒業認定が適切に実施され有効なものとなっているかを評価するものです。